

ＪＲ福知山線列車脱線事故に関する声明

4月25日、ＪＲ西日本福知山線で発生した列車脱線事故は、死亡者91名、負傷者456名（27日16時現在）というＪＲ発足以来の大惨事となりました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族に対して心より哀悼の意を表し、負傷された方々の一日も早い回復をお祈りいたします。

現在、関係機関において原因究明の調査が行われており、まだ、原因解明に至ってはいませんが、当該列車が伊丹駅で約40メートルオーバーランし、その遅れを取り戻そうとして、制限速度を30キロ上回る約100キロで現場を走行していたこと等がすでに明らかになっています。ＪＲ西日本会社は、国土交通省航空・鉄道事故調査委員会等に全面的に協力して、徹底的な原因究明を一日も早く図らなくてはなりません。

鉄道輸送業務の最大の使命は安全の確保であり、どのような原因・背景があったにしても、このような大事故を引き起こしたＪＲ西日本会社の責任は重大であります。ＪＲに働く労働者で組織している国鉄労働組合としても、悲惨な事故を自らのものとして受けとめ、事故の背景および要因の徹底究明、再発防止などについて、労働組合の立場から会社に強く求めていきます。

また、私たちは今日まで労働組合として、「効率化よりも安全確保」「ゆとりをもって働ける職場環境」をＪＲ各社に強く求めてきましたが、今回の大惨事を機に、安全・安定輸送を確立するために、より一層取り組みの強化を図っていく決意です。

2005年4月27日

国鉄労働組合